

## 令和7年度（春）宮崎大学公開講座

### 「源氏物語

### ～東屋巻(後半)を読む～

集中講義予定

会場：錦本町ひなたキャンパス

「源氏物語 ～東屋巻(後半)を読む～」とは、

前回、すんでのところ、句宮から逃れた浮舟は、先ず姉の中君に慰められます。その手段の一つが当時の娯楽であった物語を見せる（つまり相手の気をまぎらわせる）というもので、前回のパンフレットになってしまっていますが、その場面が国宝源氏物語絵巻に描かれています。もちろん講座では資料でもう一度それをお見せしますが、そこでは浮舟は絵だけが描かれた本を見ており、文字のみ書かれた本を、女房と思しき人が読み上げているようです。谷崎源氏のブレインの一人であった故玉上琢彌博士は、「これこそ当時の物語のありようだ」として、物語音読論という学説を唱えられましたので、小説と物語の違いということで、それを先ずお話ししたいと思います。

しかしながら今回の眼目は、もちろん講座後半でお話しする浮舟と薫との出会いであるわけで、それが今回掲載した国宝源氏物語絵巻の絵です。その場面は「東屋」という催馬楽（さいばら）に因むものですので、この巻の名前となったわけです。

けれど二人の出会いは最初から不吉な影が差すものでした。その理由をご存知のように、このあと浮舟は悲惨な運命を辿るからで、つまりこれらは「伏線」というわけです。千年前の物語にも、「伏線」はあったのだということを充分ご堪能いただくとともに、絵巻に描かれた場面と合わせて、源氏物語作者の構想力に思いを馳せていただきたいと思います。

また、現存する国宝源氏物語絵巻の絵はこれが最後ですので、時間の許す限り、それについてもお話ししたいと思います。



講師：宮崎大学名誉教授  
博士（文学） 山田 利博

	期 日	内 容
第1回	令和7年6月7日（土） (10:30-12:00)	中君、浮舟を慰める
第2回	令和7年6月7日（土） (13:00-14:30)	母、浮舟を三条の隠れ家に移す
第3回	令和7年6月8日（日） (10:30-12:00)	薫、三条の隠れ家の浮舟と逢う
第4回	令和7年6月8日（日） (13:00-14:30)	薫、浮舟を宇治に連れ出す

#### ◆受講方法

1. 4月16日(水)から募集を開始します。お電話、FAX、E-mailにてお申込ください。

宮崎大学学び・学生支援機構共創人材育成課

受付時間：9：00～16：00（土日・祝日は除く）

電話：0985-58-7188 FAX：0985-58-7974

E-mail：m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

※申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、その他の目的には利用されません。



2. 受講申込（仮予約）がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

◆受講料：3,000円（全4回分・消費税込）

◆入金期日：申込日より1週間

◆振込先：宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号：57863

受取人：国立大学法人宮崎大学（ダイ）ミヤザキダイガク

電話番号：0985-58-7122

注）銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。

領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

※受講料について

- ① 受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。
- ② 銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。
- ③ 受講料は返還できませんのでご注意ください。